

# 1分より短い時間の単位を知ろう

単 元	時こくと時間	対象学年	3 年
ね ら い	1分よりも短い時間に着目し，時間の単位「秒」を理解することができる。		

## 1 準備するもの

教師：早口言葉を提示する用紙，タブレット端末

## 2 学習のしかた

- (1) 秒針のある時計を見ながら，1分が60秒だということを確かめる。
- (2) 早口言葉を提示し，10秒かけて言えるように，挑戦する。
- (3) チームで，タブレット端末のストップウォッチ機能を使用して，早口言葉の秒数を計る。
- (4) スクールタクトに結果を記録する。
- (5) チーム全体の合計を計算する。
- (6) 60秒を越えているような合計（クラス全体の秒数など）を計算し，それが何分何秒なのか，考える。
- (7) 1秒ごとに手をたたいたり，目をつぶって，1分たったと思ったら手を挙げるなど，「秒」の量感を身に付ける数学的活動を行う。
- (8) 振り返りをする。

## 3 学習上の留意点

- ・計測時間が短くなりすぎないように，ある程度長い文章の早口言葉を設定する。複数回言わせたり，噛んだり，間違えてしまったときは，+5秒とするなど，少し長くなるような条件をつける。今回は，早口言葉を3回繰り返し言うようにしたが，扱う早口言葉によっては，回数やルールなどの条件を変える必要がある。
- ・無理に早く言おうとするよりも，何秒くらいかかりそうかを予想してから活動に取り組む。
- ・チーム全体の合計が1分以上にならない場合は，複数チームの合計にしたり，学級全体の合計にしたりして，工夫をする。

#### 4 学習の効果

- ・早口言葉を使うことで、楽しみながら活動に取り組むことができた。
- ・かかる秒数を予想して取り組んだことで、振り返りには1秒の感覚や30秒が思ったよりも長かったことを感じられている記述があり、量感が育成できた。
- ・学級全体を計算すると合計時間が270秒になってしまい、答えが2分70秒になる子と、3分10秒になる子、4分30秒になる子とで分かれてしまったが、チームで相談することで、1分間が60秒だということに注目し、解決することができた。

**バナナの なぞは  
まだ なぞ  
なのだぞ**



今回指定した早口言葉



スクールタクトに記入された早口言葉の結果

名前	かかった時間
	分 びょう
	分 びょう
	分 びょう
	分 びょう

名前	かかった時間
	分 6 びょう
	分 6 びょう
	分 15 びょう
	分 5 びょう

名前	かかった時間
	分 11 びょう
	分 10 びょう
	分 6 びょう
	分 6 びょう

名前	かかった時間
	分 6 びょう
	分 19 びょう
	分 5 びょう
	分 6 びょう

名前	かかった時間
	分 6 びょう
	分 6 びょう
	分 6 びょう
	分 6 びょう

名前	かかった時間
	分 13 びょう
	分 21 びょう
	分 9 びょう
	分 8 びょう

名前	かかった時間
	分 7 びょう
	分 10 びょう
	分 13 びょう
	分 6 びょう

名前	かかった時間
	分 24 びょう
	分 10 びょう
	分 7 びょう
	分 18 びょう